

# おぞの

尼崎市立小園小学校 学校だより

令和3年9月30日

No.7

## 全国学力・学習状況調査結果より

校長 平野 真紀

学校が始まることでコロナ感染がさらに拡大するのではないかという懸念の中、1ヶ月が過ぎました。確かに、全国的にも新規感染者に占める10代以下の割合は以前より増加しましたし、休校や学年閉鎖をする学校もありました。しかし、その数も徐々に減少し、緊急事態宣言は9月末をもって解除となります。少しほっとしますが、冬には第6波が来るのではないかというような予測も聞きます。感染予防の意識と対策は、これからも気を抜くことなく続けていかねばなりません。

文科省が今年度の「全国学力・学習状況調査」の結果を公表しました。国立教育政策研究所のホームページからご覧いただけます。その中で、特に保護者の皆様にも注目していただきたい項目を紹介いたします。

右の表は、平日の家庭学習時間と各教科の正答率をクロス集計したのですが、家庭学習の大切さが顕著に表れています。家で全く勉強しない子と3時間以上する子とでは平均正答率に20ポイント以上も差があります。家庭学習は、高学年なら2時間前後、低学年でも30分～1時間を目安に、宿題と復習、さらに時間があれば予習までするのが理想的です。これを毎日の習慣とすることができれば、学校の授業の理解度と定着率は飛躍的に上がります。とは言え、家庭学習習慣は簡単につくものではありません。一気に無理でも、「まずは宿題だけきっちり」「次は宿題プラス10分」「その次は宿題プラス15分」というように、段階的に取り組むのはどうでしょう。その子の性格や特性に応じた作戦をいっしょに考えていくのがよいと思います。

平日の家庭学習時間 (学習塾・家庭教師等含む)	回答した児童 の割合 (%)	平均正答率 (%)	
		国語	算数
3時間以上	11.9	75.9	80.4
2時間以上3時間未満	15.4	67.6	72.3
1時間以上2時間未満	35.5	65.7	71.1
30分以上1時間未満	24.3	61.8	67.8
30分未満	9.4	56.4	62.7
全くしない	3.5	51.4	57.5

もうひとつ、顕著な結果が出た項目を紹介いたします。平日にゲームをする時間と教科正答率のクロス集計です。まず驚いたのは、平日に3時間以上ゲームをする子が全体の28.8%もいるということです。仮に午後4時に下校したとして、宿題、食事、入浴以外のほとんどの時間をゲームに費やしていることとなります。ゲームをすること自体は悪いことではありませんが、毎日長時間やり続けると、視力が低下したりゲーム依存症になったりするかも知れません。また、この調査結果から見ると、学力にもかなり影響するようです。

平日ゲームをする時間	回答した児童 の割合 (%)	平均正答率 (%)	
		国語	算数
4時間以上	15.4	54.8	60.7
3時間以上4時間未満	13.4	59.7	65.5
2時間以上3時間未満	20.3	63.4	69.2
1時間以上2時間未満	26.8	67.3	72.9
1時間未満	16.6	71.9	76.8
全くしない	7.4	74.7	78.7

「塵も積もれば山となる」と言います。今日1日の、この1時間の過ごし方の違いが、毎日毎日積み重なって中学生になったとき、高校生になったとき、大人になったとき、一体どんな違いとなって表れるのでしょうか。そう考えると、子どもは本当に可能性の卵ですね。

